

挑戦者を「本気で支える」山梨の共創のカタチ

山梨県では、県内企業や金融機関、行政が連携し、挑戦者を支える新事業共創プラットフォーム「TRY!YAMANASHI!」を展開しています。今回は、支援者として活動する金丸滋氏（山梨県ニュービジネス協議会 専務理事）、藤野宙志氏（株式会社 GoodWay 代表）、桐山祐輔氏（コワーキングスペース CROSS BE コミュニティマネージャー）に、その舞台裏と山梨ならではの支援の強みを伺いました。

「よってたかって支援」が真価を発揮

新事業共創プラットフォームは、民間・金融機関・行政が垣根を越えて連携する、山梨独自の挑戦支援の仕組みです。誕生の背景には、県内でスタートアップを応援しようという機運の高まりがありました。しかし、支援が個別に分散しては力が最大化されない。そこで生まれたのが、挑戦者を「よってたかって支援」する体制です。金丸氏は、協議会のネットワークを活かした企業マッチングや実証フィールドの提供を担い、藤野氏は東京と山梨をつなぐ橋渡し役として県外の知見を導入。桐山氏は拠点運営を通じて挑戦者の母数を広げています。それぞれが自らのリソースを持ち寄り、挑戦者の可能性を引き出す――



写真左から金丸滋氏、桐山祐輔氏、藤野宙志氏

それが山梨独自の共創型支援の強みです。

挑戦者に近い支援環境

3 名が口を揃えて語るの、山梨の「顔の見える距離感」です。県土がコンパクトだからこそ、「金融といえばこの人」「実証実験ならあの人」と個人名でつながる支援が可能になる。さらに、県職員も当事者意識を持って伴走し、部門を越えて動く文化が根付いています。挑戦者が一人で窓口を回るのではなく、必要なキーマンに一気につながれる。この環境こそが、山梨でスタートアップを支援する大きな意義と言えるでしょう。

詳しい記事は
こちらから→

HIGH
QUALITY
YAMANASHI



金丸 滋（かなまる
しげる）氏

（一社）山梨県ニュービジネス協議会
専務理事。山梨県出身。30 歳で
U ターンし、山梨を拠点に活動。



藤野 宙志（ふじの
ひろし）氏

（株）GoodWay
代表。母方の実家が北杜市。東京で金融業界に従事後、2018 年より山梨で活動。



桐山 祐輔（きりや
ま ゆすけ）氏

CROSS BE コミュニティマネージャー。甲府市と浜松市の二拠点生活を経て、2020 年に甲府市へ移住。

山梨県の様々な魅力をお届けする
県公式のブランド情報発信サイト
『ハイクオリティやまなし』はこちら
<https://hq.pref.yamanashi.jp/>



【主担当課】山梨県 新価値・地域創造推進局 新事業チャレンジ推進課

(TEL 055-223-1514)

【発行】山梨県地域ブランド推進 CFT（クロス・ファンクショナル・チーム ※）
（事務局）山梨県 高度政策推進局 地域ブランドグループ TEL 055-223-1584

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます